

未来をひらく教育のつどい ～全体会・教科別分科会～

不安満載 新学習指導要領

別役 美佐

「未来をひらく教育のつどい」全体会・教科別分科会が、2月18日(土)、高知工業高校で開催されました。全体会は、「新学習指導要領について」と題して、竹嶋昇吾さん(追手前高校)が指導要領の改訂による問題点が指摘されました。指導要領改訂の背景として記述されている「学びの地図」として、学習指導要領を示し、幅広く共有という文言には、「学習指導要領に沿ってやりなさい」という意図を強く感じる。また、各教科・科目編成についても、新設・再編が行われ、多くの疑問点が残されている。特に、新教科「公共」の制定の経緯については、「クレスコ」(2016年7月、梅原利夫・和光大学)の資料で説明がなされた。(2016年・自

民党が道徳・規範教育を狙い設置を打ち出す。2013年・自民党が「若者の自立」「公共性の涵養」「主権者教育の育成」を目標に下村文相(当時)に具体的に提案。2014年9月・中教審教育課程部会道徳専門部で、道徳教育改善のために新科目設置も含めたまとめを発表。2015年11月・下村文相「国家及び社会の責任ある形成者となるための教養と行動規範」や主体的に社会に参画し自立して社会生活を営むために必要な力を、実践的に身につけるための新たな科目等の在り

指導要領改訂の問題点を指摘する竹嶋昇吾さん



方)「踏問」。まさに、「一高校」でも「道徳」の状態である。上位下達の学校管理・統制構造がますます強くなり、国のしびりが、強固となってくる不安が語られました。「教育」が「恐育」・「狂育」へ、教員は、「多忙」から「忙殺」へと否応なしに追い詰められている。今回の学習指導要領改訂については、さらなる学習の機会の必要性を感じました。全体会の後は、国語、社会、理科、芸術、障害児教育の分科会で、実践交流が行われました。参加者は、30名でした。

未来をひらく教育のつどい
分科会から

国語分科会

K高校の先生は、授業の初めに、百人一首を取り入れたり、漫画化された日本文学を用いて、吹き出しに語句を入れるなど、独自の工夫で、生徒の興味関心を引き出した。実践を紹介しました。



理科分科会

「ダジック・アース」地球や惑星の立体表示」と「M itaka (ミタカ)」仮想宇宙空間シミュレーションソフトウェアの紹介」と題



して、照明器具のアクリル素材のカバーや球体のバルーンに映像を映し出すなど、試行錯誤をしながら、リアル感満載の授業方法を紹介しました。

新年初歩き

呆け防止には 歩くと良い道を

上村文香

前日の身を切るような寒さから一転、松の内とは思えない三月上旬に相当するというぽかぽかのお天気に恵まれた一月六日(金)に、山の会と高退協合同の初歩きが大平山で実施されました。当日は、午前八時に高知城



また、ここでは、沖縄や台湾まで飛んで渡りをするアサギマダラが見られるそうで、丁寧な説明の立て看板がありました。参加者は、「南海大地震がきたらここまで登れば安心じゃね。」「呆け防止には知らない道を歩くと良いらしい。」「等々話しながら、大平山山頂(155m)へ。そこから少し歩いて希望ヶ丘団地や県立大学、医療センターが見える展望台で眺望を楽しんだ後、一気に下山しました。下りは、山道の勾配が急な上、落ち葉が降り積もっていたので転ばないようにロープを頼りに用心して下山しました。その後、三翠園に移動して天然温泉で山歩きの疲れを取ってから新年会をしました。倉橋会長の挨拶、上岡先生の音頭で乾杯をし、和氣調々

と楽ししまし会をしまし話を盛かす場を盛り上げ、おなか痛いと悲鳴が出た。ほど酔いになってロビーに降りると、そこにはペーパー君がいてご挨拶してくれました。ペーパー君と「恋いするフォロ」をみんなでするフォロ

チユンクッキー」をみんなでするフォロを後にしました。天然温泉で山歩きの疲れを取ってからの新年会

